スーパーＯＪ クラシック シリーズ第１８弾

国鉄Ｃ１１

北海道　207号機　苫小牧　2燈式ヘッドライト及びバックアップライト
北海道　227号機　釧路標津　ヘッドライト＋シールドビーム
東北　　64号機　会津　　典型的C11、2次型スタイル
西日本　40号機　福知山　水タンク振れ止め補強付
九州　　192号機　諫早　ブルートレインさくら牽引
九州　　254号機　佐々　門鉄型デフ

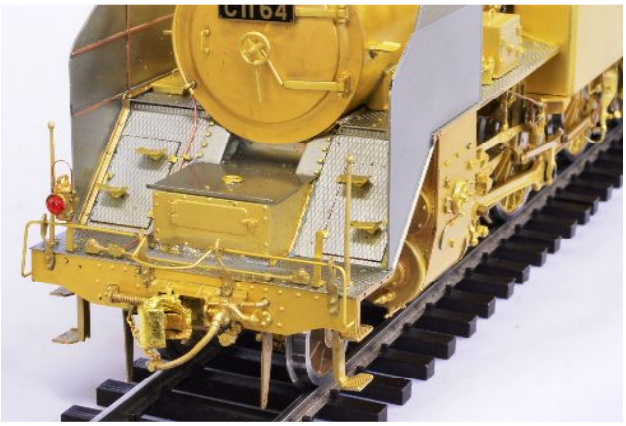
税別予価 ￥５５８，０００　２０１６年１２月発売予定

ムサシノモデルＯＪ国鉄蒸気機関車シリーズ、新作は客貨両用のタンク機関車Ｃ１１です。北海道から九州に至るまであまねく多くの路線で活躍、旅客、貨物、混合列車と多くの用途に使用され最も身近に見る事が出来た蒸気機関車です。Ｃ１１は１次型　１～２３（昭和７年）、２次型２４～１４０（昭和８年～１３年）、３次型　１４１～２４６（昭和１５～１８年）、４次型　２４７からは戦時仕様となり（４次型と分ける、分けないと意見が分かれる）戦後昭和２２年までに３８１輌が製造されている。当初製品化は北海道、東日本東北、西日本、九州の各エリアからナンバーを選び４バージョンを製作する予定でしたが北海道、九州が各２ナンバーに変更となり計６バージョンでの製作となりました。Ｃ１１は活躍した線区、輌数共多くどのナンバーを選ぶか難しいものが有りました。又蒸気機関車として最後まで活躍したので末期は移動が大きいのも特徴です。北海道は日高線で活躍した２つ目２０７号機と釧路標津シールドビーム補助灯付きの２２７号機になりました。最初の企画では２０９号機を予定して中標津で取材を行いましたが変更致しました。２０７号機は　最後に長万部に移り瀬棚線を走りました。共に現存復活して活躍しています。東日本東北は会津線から６４号機を選びました。会津線はＣ１１の活躍で有名な線区ですがどのナンバーにするか難しいものが有りましたが美しい２次型と云う事で６４号機と致しました。西日本はＬＰ４２を付けた２次型から選ぶ事にしていました（会津がシールドビームの為）。西日本のＣ１１の多くには水タンクの振れ止めが鷹取工場で取り付け改造されています。又その多くはヘッドライトがやはりシールドビーム化されていました。ＬＰ４２を付けたナンバーとして福知山の４０号機、津山の８０号機（最後は会津でサヨナラ列車牽引）美しい形状の亀山の９６号機が有ります。難しい選択でしたが振れ止めが付いた４０号機を選びました。九州では大型ヘッドライトＬＰ４０１に門鉄デフを装備した４次型佐々区の２５４号機を選びました。幸い晩年を過ごした会津田島で保存されて

います。コールバンカー後部のラッパ状の空気取り入れ口、煙室近くに付いているＡＴＳ発電機共々九州のＣ１１の魅力全開のナンバーです。しかし更に無理をＪＫ　ＭＯＤＥＬＩＮＧ側に頼み込んで早岐区でブルートレイン「さくら」を牽引した１９２号機をラインナップに加えました。こちらはバイパス弁点検口が開いた標準デフ付機です。２５４号機とはラッパ状空気取り入れ口の位置が異なります。以上６バージョン、北海道はこれ以上ない組み合わせです。九州は志布志のお召牽引２００号にも後髪引かれるところです。会津は６３号機や３次型２３６、２４４が有ります。西日本では８０号機もやはり魅力的です。これらは何れ機会が有ればと云う事で……。

ＯＪでのタンク機関車の製品化はＣ１２以来となります。模型的に見てＣ５６同等（従台車が付いてイコライザが複雑化）のＣ１２に対してＣ１１はＣ５７と同等になります。車軸配数はパシフィックを逆にした１－Ｃ－２、水タンクがＯＪスケールではボリューム感満点で動輪がかなり奥まって位置します。ボイラー、ランボード、水タンク、キャブ、コールバンカーと水平、垂直の組み立て精度を求められます。２次、３次、４次車とその特徴を的確に作り分け特に下廻りについてはイコライジング機構からフレームに取り付く部品まで実物明細図より徹底的に再現致しました。モーターは前作Ｃ６２と同じ、ギヤーレシオも揃えております。牽引力は客車８輌以上を目標に致しております。又引き続きワフ２１０００を製作致しますので当店製２軸貨車と合わせて軽貨物列車の再現等ＯＪが手軽に楽しめます。

このスケールで再現されたＣ１１はＣ１２とは全く異なりボリューム感溢れる迫力に満ちた機関車です。二つのドームの間隔も正確に再現されています。



数多くの六角ボルトが埋め込まれています。

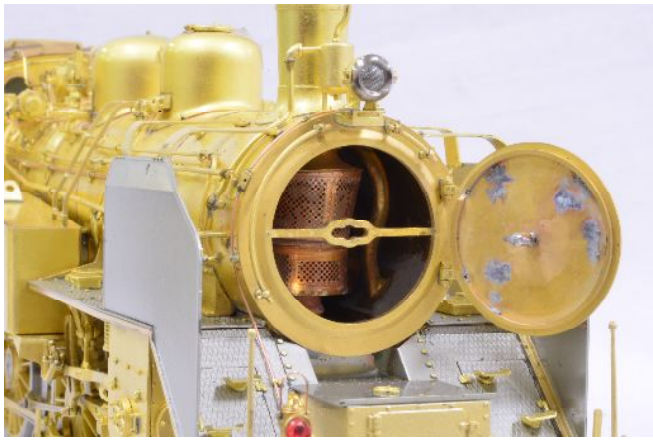
サイドタンクに対して大きく奥まったスポーク動輪の配置がＯＪの醍醐味です。

イコライザの板バネが機関車の重量で少し沈み込んだ印象が実物を彷彿とさせてくれます。まるで機関車がレールに吸い付いたように見えます。スポークはドロップ２重張り。

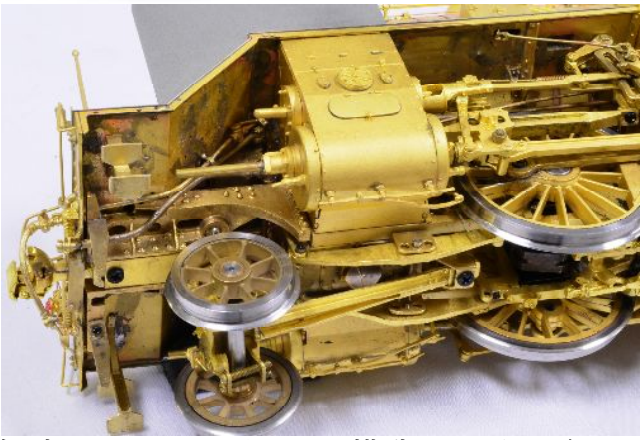
丹精な顔立ちをそのまま再現しています。

引っ掛け式テールライトの少し上に小さな庇が本製品では取り付けられます。

キャブインテリアが良く見えないのが残念ですが物凄い作り込みとなっております。



煙室扉は開閉式。内部までしっかり作り込みました。



何時ものように下廻りの構造には思わず目を見張らせてくれるものがあります。イコライジングは完全に実機を模しています。従台車も同様です。

……キリトリ線……

＜お　客　様　ご　注　文　書＞

ご注文年月日　　年　　月　　日

ご氏名　　郵便番号　　-

ご住所

電話番号　　ＦＡＸ番号

メールアドレス

製　　品　　名	注文数
北海道　２０７号機　苫小牧　2燈式ヘッドライト及びバックアップライト	
北海道　２２７号機　釧路標津　ヘッドライト＋シールドビーム	
東北　６４号機　会津　　典型的Ｃ１１、2次型スタイル	
西日本　４０号機　福知山　水タンク振れ止め補強付	
九州　１９２号機　諫早　ブルートレインさくら牽引	
九州　２５４号機　佐々　門鉄型デフ	

Hobby House
有限会社
ムサシノモデル

〒174-0053　東京都板橋区清水町７３－１
HOMEPAGE http://www.musashino-m.co.jp
E-MAIL order@musashino-m.co.jp
TEL 03 (3961) 5666
FAX 03 (3961) 0317